

ベストクラス選定理由書

作成者：新濱由梨、森達也、長野沙紀、檜皮賢治、岸田恵津、西岡伸紀

科目名称	教えと学びの哲学 (担当教員名： 大関達也)		
課程	学部・大学院 (修士・専門職)	開講時期	後期
授業形態	講演	授業規模	30人以下
インタビュー対象教員名	大関達也 (実施日時：7月31日(金) 11:00~12:00; 実施場所：Zoom ミーティング)		
インタビュー対象受講者名	井上里佳、谷口祥子、田中健人 (実施日時：7月31日(金) 11:00~12:00; 実施場所：Zoom ミーティング)		
選定理由	<p>本授業は大学院修士課程の講義であり、多様なコースの学生が在籍していた。</p> <p>講義の内容としては、前半は教育哲学や教育思想史の観点から教育の現状における問題点を見出すことや「教えること」と「学ぶこと」の意味を展望するといった内容を講義形式で行い、後半は前半で学習したことを利用しながら教育に関する様々なテーマをグループに分かれて探求し、ディスカッションをする演習形式で行われた。</p> <p>本授業のねらいとしては、学生がこれまで経験してきた教育を振り返り、教えることや学ぶことの実践についての反省や改善について考えることである。そのために授業者は学校での日常的な出来事や教育現実から学生の問題意識を喚起することに力をいれ、教育哲学や教育思想史から知識を補足した上で学生の教育経験や実践を振り返らせ、再度考えることができるように工夫をしていた。</p> <p>学生の意見からは様々なキャリアをもつ学生が在籍していたこと、そして授業者の講義やグループディスカッションを通して授業者だけでなく学生同士でも知的刺激を受けたことや講義を通して教育について考える、考えさせられるものであったという意見が多くあった。また、教育哲学や教育思想史についての専門的な知識が少なくても授業者の資料の提示や丁寧な解説があったため、学習に取り組みやすく、演習でも学生自身の経験を取り入れながら行うことができたという意見もあった。</p> <p>そして、ベストクラス候補に選ばれた大きな要因としては、本授業に対する授業者の熱意や学生の多様な教育経験やキャリアを通して授業者が講義内容を変化させ、学生がよりよく学べるように臨機応変に対応する手腕、そして授業者だけでなく学生の積極的に取り組む姿勢や講義で得た知識や思想を踏まえて学生自身の今までの経験や実践から得たことも織り交ぜながら本授業に臨んでいたこと、つまり授業者と学生の積極的な交流と本授業に対しての双方の姿勢によって活発な講義が行われたことであると考えます。</p> <p>以上の理由より、本クラスをベストクラス候補に推薦する。</p>		